

ツバメのチュンチュン♪①

はなぐみ 6/19

5月のGW中に、ツバメが園にやってきて巣作りを始めていました。4年前にも同じ場所に巣を作っていたようで、今年も同じ場所にせっせと泥や藁を付け足していました。何度もやってくる鳥に興味津々の子ども達。絵本を読んで、その鳥は「ツバメ」だということを知りました。途中巣が崩れて下に落ちているのを見て、トイレを作ることを提案！ツバメのイラストを切り貼りしたものを巣の下に置いて静かに見守っていました。

卵の殻を発見！
赤ちゃん産まれたかな？



巣から声が聞こえるよ！



そしてついに今週月曜日、可愛い鳴き声が聞こえてきました。台に上がって見てみると、「ピーピー」「チュンチュン」と鳴きながら首を伸ばすツバメの赤ちゃんが見えました。「口は黄色！」「こうやって開けてるよ」と可愛いと思う姿を言葉や体で表現したり、親ツバメから餌をもらっている姿を見て、「口ばしであげてた！」「何食べたんだろう？」と考えたりと、子ども達は新しい発見と不思議でツバメから目が離せません。

しばらくして、巣の下に卵の殻が落ちているのを見え！クラスタイムで話題を出すと、「ツバメの赤ちゃん産まれたかも！」と予想し期待が高まります。しかし巣からは見えないツバメの赤ちゃん。「卵めっちゃ小さいもんなあ」「小さすぎて見えへん」と言いながら、顔を出すことを楽しみにしていました。



見えた！
赤ちゃん可愛い〜♡

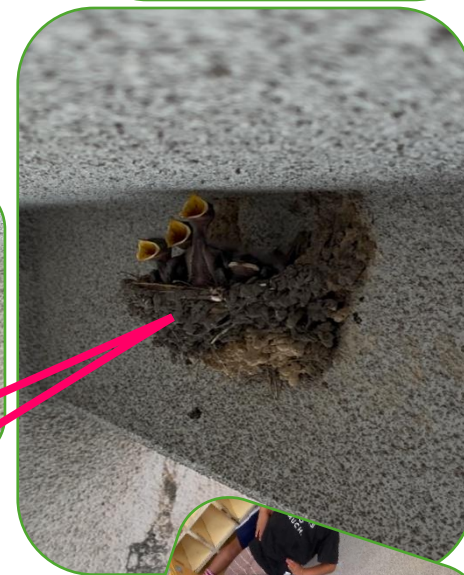
パパとママが
餌をあげてるよ！
飛んでる虫を
食べるんだって！

～番外編～

4月にも渡り鳥（キビタキ？）がはな組でしばらく休憩していました。触りたいけど見るだけ…今年は鳥がたくさん来てくれて嬉しいね♪



3羽だと思っていたら
…4羽だった！



巣の中を写真で見ると、4羽いることが分かりました。興味が高まってきたところで、恒例の名付けタイム♪開始10秒でみんな納得の「チュンチュン」に決定しました。チュンチュンは一日に餌を100個食べるそうです。ということは、4羽いるから400個！すごくたくさんだということに驚くとともに、「パパとママめっちゃ大変やなあ」と思いを寄せる姿が見られました。



大きくなったらこのツバメの色になるのかな？



ツバメに手は届かないけれど台に上がって見たり、虫眼鏡で見たり、教師が撮った写真を見たりといろいろな方法で関わろうとしています。また、絵本や図鑑でツバメについて調べたり、何羽いるのかをじっと観察して予想したりする姿がありました。飛んでいる虫を食べるということは、みんなが大好きなチョウチョも餌になっているということ。複雑な気持ちの子ども達でしたが、ツバメも大きくなるには食べ物がないといけません。ツバメのひな（チュンチュン）の可愛さだけではなく、親ツバメの大変さも知り、自分なりに思いを寄せていました。巣立ちまで約3週間。夏休みに入るまでに無事大きくなって巣立つチュンチュンが見れますように…！